

ひらつか市民活動センター運営業務委託 令和 6 年度報告書

1 実施業務

ひらつか市民活動センターの設置及び管理等に関する条例及び施行規則に基づき、ひらつか市民活動センター（以下、「センター」という。）の管理等に関する業務全般を行った。

主な実施業務は次のとおり。

(1) 市民活動推進のための施設及び設備を利用に供すること。

ア センターを利用するものの利用承認に関する業務

【新規登録件数】

市民活動団体	16 団体
一般団体	12 団体

イ センターの会議室、特定設備及びレターケース等の利用承認に関する業務

【会議室等利用状況】

項目	区分	2024 (R6) 年度				2023 (R5) 年度				前年差	増減率
		午前	午後	夜間	全体	午前	午後	夜間	全体		
団体数	会議室	885	872	588	2,345	833	866	650	2,349	▲ 4	99.8%
	MTG	699	825	269	1,793	658	857	271	1,786	7	100.4%
	情報	58	45	10	113	47	48	18	113		100.0%
	作業	146	89	12	247	134	109	15	258	▲ 11	95.7%
	合計	1,788	1,831	879	4,498	1,672	1,880	954	4,506	▲ 8	99.8%
利用人数	会議室	10,313	10,677	5,295	26,285	9,065	9,617	5,284	23,966	2,319	109.7%
	MTG	3,350	3,413	706	7,469	2,881	3,318	833	7,032	437	106.2%
	情報	71	57	10	138	58	57	21	136	2	101.5%
	作業	360	150	19	529	337	197	18	552	▲ 23	95.9%
	キッズ	47	26	2	75	26	16	1	43	32	174.4%
	合計	14,141	14,323	6,032	34,496	12,367	13,205	6,157	31,729	2,767	108.7%

【会議室の稼働率】

	午前	午後	夜間	全体
2024年度	85.0%	84.5%	56.6%	75.4%
2023年度	79.4%	83.2%	62.3%	75.0%

<施設利用状況の概況>

年間：利用団体数は前年度比 95.7%、利用人数は 108.7%

上期：利用団体数は前年度上期比 101.1%、利用人数は 109.8%

下期：利用団体数は前年度下期比 98.6%、利用人数は 107.9%

四半期別にみると、

- ・第一四半期：前年度比、利用団体数は 99.7%、利用人数は 110.1%の伸び率
- ・第二四半期：前年度比、利用団体数は 102.9%、利用人数は 109.5%の伸び率
- ・第三四半期：前年度比、利用団体数は 94.9%、利用人数は 105.7%
- ・第四四半期：前年比、利用団体数は 102.5%、利用人数は 110.9%

会議室の稼働率は、全体で 75.4%（前年上期 75.0%）であり、時間帯別でみると
 午前 85.0%（同 79.4%）・午後 84.5%（同 83.2%）・夜間 56.6%（同 62.3%）となった。
 会議室の利用実績については、市民活動登録 326 団体の内 156 団体が 1 回以上利用（47.9%）、
 一般団体登録 122 団体の内 38 団体が 1 回以上利用（31.1%）している。

【特定設備利用件数】

ロッカー小・小別	39 個／40 個
ロッカー大	18 個／18 個

【レターケース利用件数】

レターケース	72 個／81 個
--------	-----------

ウ センターを利用するものが、センターに設置する印刷機、複写機及びプリンターを使用した場合の使用料、並びに、たすけ愛文庫等の寄附金の収納（徴収）業務

【実施実績】 毎月提出済み

【収納額】

	印刷機	複写機（コピー機）	プリンター	たすけ愛文庫等の 寄附金
4 月	23,160 円	17,430 円	4,210 円	17,230 円
5 月	16,960 円	13,100 円	600 円	13,518 円
6 月	17,990 円	11,560 円	450 円	10,220 円
7 月	13,790 円	14,690 円	1,060 円	11,661 円
8 月	9,400 円	8,250 円	20 円	9,330 円
9 月	25,310 円	15,450 円	2,310 円	14,250 円
10 月	27,230 円	11,860 円	100 円	15,500 円
11 月	12,910 円	8,320 円	600 円	20,750 円
12 月	13,630 円	8,870 円	510 円	7,200 円
1 月	12,590 円	14,210 円	740 円	10,770 円
2 月	10,820 円	11,500 円	1,310 円	15,460 円
3 月	9,760 円	13,310 円	2,050 円	9,173 円
通期	193,550 円	148,550 円	13,960 円	155,062 円

（２）市民活動に関する情報を収集し、及び提供すること。

ア Web サイト・メールマガジン・SNS 等による情報発信

- 【Web サイト】①トピックス（センターの開館及び会議室の利用状況に関する情報、市民向け講座等の情報、平塚市情報等の掲載、
②イベント情報（市民活動団体イベント情報） ③助成金情報
④ボランティア情報 ⑤イベント開催レポート（センター主催事業の報告等）
⑥ひらつかの風（適宜）

・活動センターWeb サイト 2025 年 3 月末までアクセス状況

▼計測期間：R6 年度 2024/4/1～2025/3/31（365 日間）

▼比較期間：前年同時期 2023/4/1～2024/3/31（366 日間）

▼ページビュー数（期間中に閲覧されたページの数）

今期：125,730 回 1日あたり：344,46 ページ（GA4 計測）

前期：129,783 回 1日あたり：355,56 ページ（UA・GA4 計測）

▼年間ユーザー数（1 年間にサイトに訪れた人数）

今期：44,035 人 1日あたり：120,64 人（GA4 計測）

前期：43,533 人 1日あたり：119,268 人（UA・GA4 計測）

・GA4 では、表示回数、UA ではページビュー数でのカウントとなる。

*ページビュー数：表示されたページの合計数。同じページが繰り返し表示された場合も集計される。

*表示回数：表示されたアプリ画面またはウェブページの総数。同じスクリーンやページが繰り返し表示された場合も集計される。

【メールマガジン】毎月 10 日発行（4 月～2025 年 3 月まで 12 回発行）（244 号/3 月発行）
登録数：399 名

【SNS 等による】別紙「ソーシャルメディア利用申請書」のとおり。

▼Facebook：フォロワー368 人、「いいね！」330 件

（参考：令和 5 年 9 月末 331 人、「いいね！」308 件）

▼YouTube：登録者数 116 人（参考：令和 5 年 9 月末 64 人）

イ 情報紙の発行（年 6 回／隔月発行）

【ひらつかの風（情報紙）発行】

別紙「ひらつかの風第 38、39、40、41、42、43 号」のとおり。

第 38 号	5 月 15 日発行
第 39 号	7 月 15 日発行
第 40 号	9 月 15 日発行
第 41 号	11 月 15 日発行
第 42 号	1 月 15 日発行
第 43 号	3 月 15 日発行

(3) 市民活動に関する調査及び研究を行うこと。

ア センターを利用するものへのアンケート調査（結果の分析を含む）（年1回）

11月15日から12月20日の期間で「市民活動団体の現状に関する」アンケートを実施した。結果、164団体（前年度132団体）から回答が寄せられた。内容を集計・分析した成果物は各市民活動団体に冊子として配布するとともに、個人情報配慮した上でWeb上でも公開した。

(4) 市民活動に関する相談を行うこと。

ア 市民等からの次の相談を行い、相談記録を作成すること。

【相談記録】 別紙のとおり

【相談件数】

相談件数	240件
（内専門相談）	119件/240件

【相談内訳】

一般相談			
項目	2024年度	2023年度	前年差
ボランティア関連	15	6	4
市民活動団体を知りたい	16	16	
センター登録関係	11	14	2
団体をつくりたい	4	3	1
NPO法人を設立したい	1	6	▲2
助成金に関する相談	2		1
組織運営に関する相談(運営・会計・広報・他)	2	6	▲4
協働に関する相談			
その他	16	26	▲2
団体登録に関する相談	47	17	9
フォロー	7	3	3
一般相談合計	121	97	12

【専門相談】

専門相談			
項目	2024年度	2023年度	前年差
資金調達	11	9	0
組織運営	19	4	14
情報・広報	8	0	4
法人設立	10	9	▲ 1
会計・税務	10	23	▲ 5
連携・協働	9	3	3
その他	36	31	1
フォロー	16	14	6
専門相談合計	119	93	22
一般相談+専門相談	240	190	34

(5) 市民活動に関する学習の機会及び市民活動を行うものの相互交流の機会を提供すること。

ア 市民等向け講座の実施（年7回）

【市民向け講座 7回実施】

講座名・講師等	実施日	参加者数
ファンドレイジング講座 講師：徳永洋子氏 ファンドレイジング・ラボ代表 日本ファンドレイジング協会理事	7月20日（土） 14:00~16:30	11団体・11人、個人・0人 スタッフ・6人 合計・17人
協働をテーマにした団体応援講座 団体の活動を見つめ直し未来を描く ～協働から生まれるまちづくり～ 全3回 講師	第1回 9月21日（土） 14:00~16:00	第1回 6団体・13人 スタッフ5人 平塚市・2人 合計・20人
第1回 米元 洋次 氏 合同会社 Active Learners	第2回 10月5日（土） 14:00~16:00	第2回 7団体・15人 個人・1人 スタッフ5人 平塚市・3人 合計・24人
第2回 椎野 修平 氏 日本 NPO センター特別研 究員	第3回 10月27日（日） 14:00~16:00	第3回 5団体・7人 個人・4人 平塚市・1人 スタッフ・4人 合計・16人
第3回 山之内 凜太郎 氏 合同会社 Active Learners		

広報力UP講座 全2回 講師：北原まどか氏 認定NPO法人森ノオト理事長	第1回 9月28日(土) 13:30~15:30	6団体・10人、平塚市・1人 スタッフ・4人 合計・15人
	第2回 11月9日(土) 13:30~15:30	7団体・9人、インターン・2人、 スタッフ・3人 合計・15人
NPO法人運営・設立講座 講師：坂田美保子氏 NPO法人湘南NPOサポートセンタ 一理事長	3月22日(土) 10:00~12:00	1団体4名、個人3名 スタッフ2名 合計・9人

イ センターを利用するもの同士の交流会の実施（年1回）

【交流会 3回実施】

講座名・講師等	実施日	参加者数
第1回支援者間交流会（社協協力） 講師：内田英子氏 平塚市社会福祉協議会	6月20日(木) 14:00~16:30	8団体・9人、 他支援機関・11団体・13人 スタッフ・4人 合計・26人
防災座談会 事例紹介：芦川好宏氏 平塚市社会福祉協議会	9月29日(日) 13:30~16:00	7団体・20人、他団体・2人 個人・1人、災害対策課・1人 学生・3人 スタッフ・6人 合計・33人
第2回支援者間交流会（社協共催） 講師：又村あおい氏 一社）全国手をつなぐ育成会連合会 （平塚市社会福祉協議会と共催）	2月26日(水) 14:00~16:00	10団体・21人、他支援機関・9 団体・19人、平塚市・1人、社 協・4人、スタッフ・4人 合計・49人

ウ 市民活動の普及のためのイベントの実施（年1回）

【ひらつか市民活動センターまつり実行委員会の運営及び当日について】

実施内容	実施日	参加者数	決定事項
実行委員会発足	6月14日(金)	14団体・14人	
第1回実行委員会	6月14日(金) 18:00~19:30	11団体・11人 協働推進課・3人 スタッフ・6人 合計・20人	*実行委員長、副実行委 員長の選任 *開催日時、参加団体数、 委員会日程の確認

第2回実行委員会	7月12日(金) 18:00~19:30	12団体・12人 協働推進課・3人 スタッフ・5人 合計・20人	*出展団体募集状況 *実行委員会企画、子ども向け企画 *川柳大賞 *寄附金募集提案 *ポスター大賞
第3回実行委員会	8月9日(金) 18:00~19:30	10団体・10人 協働推進課・3人 スタッフ・6人 合計・19人	*参加団体確定(54団体) *会場レイアウト *実行委員会企画 *今後のスケジュール
第4回実行委員会	9月13日(金) 18:00~19:30	11団体・12人 協働推進課・2人 スタッフ・6人 合計・20人	*会場レイアウト、備品の確認 *実行委員会企画 *缶バッジづくり日程 *ぬり絵・寄附金依頼
実行委員会協力 *缶バッジ・ガーランド(館内飾り)づくり	9月21日(土) 10:00~12:00 9月27日(金) 13:00~16:20	3団体・3人 缶バッジ440個作成 3団体・3人 ガーランド作成	*缶バッジは27日午前中にも不足分を作成協力有り(1人)
第5回実行委員会	10月11日(金) 18:00~19:30	14団体・14人 協働推進課・3人 スタッフ・7人 合計・24人	*会場レイアウト修正、当日パンフレット *実行委員会企画*寄附/協賛*会計監査選出
全体説明会	11月1日(金) 18:00~20:00	46団体	*会場レイアウト説明 *前日準備・当日運営注意事項
第6回実行委員会 (反省会)	12月13日(金) 16:30~17:30	12団体・12人 協働推進課・2人 スタッフ・7人 合計・21人	*まつり総括 *会計監査報告
備考	・事務局会議(計6回実施) 4/8(月) 6/5(水) 7/10(水) 8/2(金) 9/5(木) 10/4(金)		

【ひらつか市民活動センターまっりの実施】

実施日	参加者数	実施内容
11月24日（日） 10:00～15:00	延べ・3771人 (内訳) 参加団体延べ・512人 一般来場者延べ・3256人	・ポスター大賞/川柳大賞表彰式 ・市内幼稚園、保育園児によるセンターマスコット「たすけくんとあいちゃん」のぬり絵の展示 ・崇善小学校マーチングバンドによる演奏(オープニング) ・団体出展(ブース 48 団体 パフォーマンス 8 団体(ブースとの重複 2 団体)) 計 54 団体

エ 特定非営利活動法人の会計・税務相談会の実施（年1回）

【会計・税務相談会 1回実施】

講座名・講師等	実施日	参加者数
会計・税務相談会 徳永、小原税理士	2025年2月5日 (水)18:00～20:00	3団体・6人

(6) 市民活動に係る人材の育成を行うこと。

ア 若者のボランティア参加を促進する事業の実施（年1回）

【こどもわくわくフェスタ 2024】

市民活動・地域活動への新たな担い手育成と市民活動団体のノウハウや専門性のPRを目的として実施した。令和5年度に第1回を実施した際、地域ニーズの高さに手応えを感じ2回目の開催に至った。参加者は低学年、未就学児及びその保護者（30～40代）で、子どもはもとより保護者のボランティア活動や市民活動に対する関心度も高く、新たな市民活動への参画も期待できる。

＊崇善公民館との共催事業

実施日	参加者数	実施内容
7月27日（土） 10:00～14:30	来場者数・1,886人 出展団体・18団体 (内ゲスト・2団体) 江陽中学校科学部 UD DANCE SCHOOL	4月26日（金）18:00～19:30 参加団体説明会・10団体参加 7月26日（金）15:00～17:00 前日準備 7月27日（土）8:45～15:00 施設全体を活用して開催

イ 市民の市民活動参加を促進する事業の実施（年 1 回）

実施日	参加者数	実施内容
令和 7(2025)年 3 月 22 日（土） 10:00～12:00	1 団体・4 人、個人・3 人、スタッフ・3 人 合計・13 人	・ NPO 法人の設立について ・ 団体の組織運営について

（7）その他市民活動の推進に関すること。

ア 市との情報共有（センター運営状況の報告等）（毎月 1 回）

令和 6 年度より市との情報共有の仕組みを検討、センタースタッフミーティング（毎月 1 回及び各種事業別ミーティングを適宜実施。市との情報共有は湘南 NPO サポートセンター理事会とで実施し、議題はセンター運営の他、市民活動支援・協働の推進など重要項目について話し合うこととした。

そのことによりスタッフ内の業務に関する意思疎通が深まり、また市との打合せでは市民活動支援について踏み込んだ意見交換が出来るようになった。

【スタッフ内部ミーティングの実施 12 回】別紙「スタッフミーティング議事録」のとおり。

4 月	4 月 5 日(金)
5 月	5 月 8 日(水)
6 月	6 月 5 日(水)
7 月	7 月 2 日(火)
8 月	8 月 2 日(金)
9 月	9 月 5 日(木)
10 月	10 月 4 日(金)
11 月	11 月 6 日(水)
12 月	12 月 3 日(火)
2025 年 1 月	1 月 7 日(火)
2 月	2 月 5 日(水)
3 月	3 月 7 日(金)

イ 【市との会議（センター運営に関する法人理事会との打合せ）】

5 月	5 月 24 日(金)
8 月	8 月 2 日(金)
11 月	11 月 5 日(金)
3 月	3 月 24 日(月)

ウ センターの清潔さの維持のための最低限の清掃

【随時実施】

エ その他、市が参加を必要とした関係機関等のイベントなどへの参加（１～３回を想定）

【４月２７日（土） 第４８回平塚市緑化まつり：平塚市総合公園（南側はらっぱ）】

実施日	参加者数	実施内容
４月２７日（土） 10:00～16:00 第４８回平塚市緑化 まつり	延べ４０８人 内訳： ・たすけ愛文庫・２０１人 *寄附と交換冊数×３ ・釣りゲーム：２０７人 *参加人数６９人×３	・市民活動センター出張ブース （市民活動/ボランティアに関する相談） ・たすけ愛文庫への寄附額 ７, ７００ 円 ・釣りゲーム（崇善公民館より借用）

【１０月１２日（土） TOKAI グローカルフェスタ出展：東海大学湘南校舎】

実施日	参加者数	実施内容
１０月１２日（土） 10:00～15:00 2024 TOKAI グロー カルフェスタ	延べ・５５５人 内訳： ・たすけ愛文庫・２５５人 *寄附と交換冊数×３ ・紙コップ工作・３０人 *参加人数１００人×３	・市民活動センター出張ブース （市民活動/ボランティアに関する相談） ・たすけ愛文庫への寄附額 ８, ５５０ 円 ・紙コップ工作（ハロウィンおぼけ）

２ 業務内容を履行するための要件に対する対応

（１）常時２名をセンターに配置すること。

ただし、業務内容に応じて必要最小限の範囲で増員可能とする。

- ・常時２名をセンターに配置し、業務内容に応じ増員をした
- ・湘南ひらつか七夕まつり開催に伴い、令和６年７月３日（水）午前９時から７月８日（月）１７時までの期間を休館とした。

（２）ひらつか市民活動センターのホームページを管理・運営すること。

なお、市と協議のうえ、市民の利便性向上に努めること。

- ・適切にひらつか市民活動センターのホームページを管理・運営した。
- ・市民活動団体情報ファイルを団体自身が編集できるよう継続してサポートを行っている。

(3) センターは、平塚市立崇善公民館との複合施設であるため、同館との連携・調整をすること。

【相互利用実績】

崇善公民館→センター		通期
団体数	2024年度	40
	2023年度	45
利用人数	2024年度	425
	2023年度	516
センター→崇善公民館		通期
団体数	2024年度	182
	2023年度	160
利用人数	2024年度	1,408
	2023年度	1,234

(4) 必要に応じて関係機関や専門家等との連携・調整をすること。

※関係機関とは、公共団体、教育機関、他センター、社会福祉協議会、法人などをいう。

【関係機関や専門家との連携実績】

関係機関名・専門家	実施日	連携・調整内容
① 神奈川県ボランティア基金 21 団体成長支援事業（2 年目） 主催:認定 NPO 法人森ノオト パブリックリレーションズ・サ ポートプログラム *アドバイザーとして参画 *契約主体:湘南 NPO サポート センター	・ 8 月 8 日(木) 13:00~16:00 (参加団体研修①) ・ 9 月 11 日 (水) 13:00~16:00 (参加団体研修②) ・ 2 月 28 日 (金) 14:00~17:00 (成果報告会)	広報力を高めたい団体（エントリー 10 団体）の伴走支援プログラム ・ 横浜市民協働センター ・ かわさき市民活動センター ・ ひらつか市民活動センター ・ (一社) ソーシャルコーディネート かながわ
②神奈川県「かながわ NPO 伴 走応援プログラム」(受託団体: (一社) ソーシャルコーディネ ートかながわ *伴走支援団体として参画 1.鎌倉市市民活動センター 2.アクションポート横浜 3.かわさき市民活動センター 4.ぐらすかわさき 5.ひらつか市民活動センター	①7 月 4 日 (木) 10:00~12:00 ②8 月 1 日 (木) 10:00~12:00 ③8 月 23 日 (金) 13:30~16:00 ④9 月 12 日 (火) 14:00~16:00 ⑤9 月 17 日 (火) 13:30~15:30	かながわ NPO 伴走応援プログラム *支援団体: 認定特定非営利活動法人 ヴォース・ニッポン ① 第 1 回サポーター会議 ② 第 2 回サポーター会議 ③ 全体会 (キックオフミーティン グ) エントリー団体 13 団体/伴走 支援サポーター12 支援センター *支援団体との顔合せ ④ 第 3 回サポーター会議

6.横須賀市市民活動サポートセンター 7.三浦市民交流センター 8.とつか区民活動センター 9.座間市民活動サポートセンター 10.藤沢市民活動推進機構 11.まちラボ 12.ソーシャルコーディネートかながわ *契約主体:湘南 NPO サポートセンター	⑥10月9日(水) 11:00~12:00 ⑦10月11日(金) 14:00~16:00 ⑧10月14日(月) 13:30~15:20 ⑨10月30日(水) 13:30~15:20 ⑩11月11日(月) 14:00~16:00 ⑪11月22日(金) 10:30~12:40 ⑫12月9日(月) 14:00~16:00 ⑬1月20日(月) 14:00~16:00 ⑭1月27日(月) 16:00~17:00 ⑮2月21日(金) 13:30~17:30	⑤ 支援団体代表との打合せ ⑥ 支援団体理事・会員との打合せ ⑦ 第4回サポーター会議 ⑧ 支援団体代表との打合せ ⑨ 支援団体代表との打合せ ⑩ 第5回サポーター会議 ⑪ 支援団体代表との打合せ ⑫ 第6回サポーター会議 ⑬ 第7回サポーター会議 ⑭ 支援団体代表との打合せ ⑮ プログラム報告会
③神奈川県「NPO・企業・大学とのパートナーシップミーティング in 平塚・大磯・二宮～地域が育む未来の活力～」*契約主体:湘南 NPO サポートセンター	令和7年1月23日(木) 14:00~17:00	神奈川県・平塚市・大磯町・二宮町との連携によって協働で開催 (令和5年度に続いて2回目) 参加人数・33人、オブザーバー・3人 事例発表者・7人 合計・40人
平塚市社会福祉協議会との連携	ボランティア情報、活動団体の情報提供、防災連携(*1)、重層的支援体制の課題(*2)、等適宜情報交換を行った。 (*1)防災座談会 (*2)支援者間交流会	
包括支援センターゆりのきとの連携	地域福祉に関する情報の共有、相談内容(個人情報等は省く)の共有など、適宜情報交換を行った	
崇善公民館、崇善地区自治会連合会との連携	崇善公民館との連携による会議室の相互利用、事業の共同開催、協力。崇自連との情報交換、地域課題の共有 崇善地区小地域ケア会議への参加	

神奈川県内の支援センターとの連携	神奈川県主催の CEO ミーティングの他、各支援センター間で必要に応じて情報交換を実施した ・ 令和 6 年度神奈川県 CEO ミーティング 9 月 26 日（木）14：00～17：00
------------------	---

3 事業総括

【自由記述】

（１）センター登録団体の概況

令和 7 年度 3 月末時点での登録数は市民活動 326 団体、一般 122 団体、合計 448 団体となっている。

市民活動団体の活動分野別での比率は、保険、医療及び福祉の増進関連が 90(27.6%)、次いで学術、文化、芸術又はスポーツの振興関連が 58 体(17.8%)、こどもの健全育成は 48 団体 (14.7%) の順である。

（２）委託契約書による事業の進捗状況

契約書の内容に従い、市民向け講座など各事業、定期刊行物発行、協働推進課との定期的な情報共有等々、上期は遅滞なく履行できた。

（３）人材育成（スタッフ研修）

① 初任者研修：かながわ県民活動サポートセンター

10 月 30 日(水)13:30~16:00 (2 名参加)

② センター主催講座及び事業への参加

ファンドレイジング講座、こどもわくわくフェスタ、団体応援講座（2 種）、支援者間交流会、防災座談会等、団体と共に参加し学ぶことで団体の現状把握、相談力向上に努めた。

③ 県の 3 つの事業（基金 21 団体成長支援事業アドバイザー会議に出席、かながわ NPO 伴走応援プログラムへの参画、神奈川県 NPO・企業・大学パートナーシップミーティング参画）によって、中間支援組織の職員としての学びを深めている。（契約主体：湘南 NPO サポートセンター）

④ 毎月のスタッフミーティングで、相談対応などの振り返りを実施。

⑤ 12 月 27 日(金)センタースタッフ研修を実施(スタッフ 10 名出席)。

中間支援組織について、センターの運営についての講義とディスカッションを行った。

（４）NPO/市民活動団体支援の現状から

① 団体の現状と課題

特定非営利活動促進法の成立から 26 年目を迎え、団体の高齢化・事業継承はこれまで以上に深刻な課題となっている。一方で団体活動が思うように進まない、仲間が増えない、資

金が不足しているという団体のヒヤリングを進めていくとビジョン・ミッションが不明確であるが故の悩みであることも散見される。

12月に実施した「市民活動団体の現状に関するアンケート調査」結果では、今後の活動に必要なと思われるものとしては情報発信力が最多となっており、次が人材育成力であった。また、必要と思われる支援策については、資金調達・地域との連携・行政との協働が挙げられた。また、センターに特に力を入れてほしいことについては、団体からの情報発信の援助、団体への情報提供であった。NPO・市民活動団体にとって情報発信が上手くできないことが課題となっており、知ってもらうためには、ビジョン・ミッションの再確認と必要としている方にとってわかりやすい情報の整理及び発信の仕方が急務であると言える。

② 団体の連携・ネットワークの仕組み

社会全体の課題ともいえる生活困窮世帯の増加、不登校・ひきこもり者の増加、孤立化する高齢者や支援の必要な子どもを支援するNPO・市民活動団体及び社会福祉協議会、就労支援機関の悲痛な声を聴き、6月に支援者間交流会を開催した。想像以上に横のつながりを必要としていることを改めて実感し、令和7年2月に第2回支援者間交流会を平塚市社会福祉協議会との共催で障がい者支援をテーマに開催した。市民活動団体・支援機関など併せて40名が参加、充実した意見交換と関係する各機関が連携することの重要性を改めて認識する機会となった。

第4回目となる防災座談会は、能登半島地震の支援に出向いた市社協職員からの事例紹介と、昨夏の大雨による市内の被害状況を共有した。今回は市民活動団体の連携推進と共に団体として出来ることを共有する機会となった。団体アンケート結果では、防災に関する連携・協力の申し出が68団体に増え（令和6年度は40団体）、その関心の高さが伺えた。多様な地域課題解決に向けた多機関連携のネットワークは、安心安全のまちづくりに向けて重要な位置づけになると考えており、引き続き連携・協力の仕組みづくりに向けて取り組む予定である。

③ 若い世代のボランティア活動への参加について

若い世代のボランティア活動や市民活動への参加の特徴は広く浅く緩くつながり、楽しいことには積極的に参加するが継続的な活動にはつながりにくい。

一方で何かをやってみたいという若い世代の声も増えており、学生が参加したくなる取組や仕組みづくりが求められている。地域学校協働活動やコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）、中学校・高校等での探究活動など地域の動きも見ながら、一步を踏み出すためのきっかけとなる場づくりが今後の課題と考えている。

また、10月～12月にかけて東海大学の学生を3名インターンシップ生として受け入れたが、社会課題解決に向けて活動することの意義や必要性を実感してもらえたように思う。引き続き受け入れ体制を整えていきたい。

④ 人生 100 年時代におけるシニア世代の市民活動への参加について

シニア世代のボランティア活動や地域活動への参加の機会を作っていくことが必要と言われているが、進みにくい原因として①70 歳を過ぎても働きたい②既存の団体の参加のハードルが高い③自ら団体を立ち上げるのは難しい④趣味の延長線上にあるサークル活動が良い、などの声が聞かれる。一方、社会とのつながりを持ちながら活動しているシニア世代は、元気な方が多く健康寿命が長いと言われていることから、シニア世代にむけた参加のきっかけづくりも重要であると考ええる。

以上